

世界アルツハイマーデー

9月21日は「世界アルツハイマーデー」です。国際アルツハイマー病協会が1994年のこの日、英国エジンバラで開催した第10回国際会議を機に、世界保健機関（WHO）の後援を受けて「記念日」として宣言しました。



毎年、世界の70以上の国と地域で、認知症の患者さんを抱える家族団体などが、疾病に関する理解の向上を図ったり、患者さんや介護者の方々を支援したりする活動が展開されています。

佐伯区では9月12日に区民文化センターで13時30分より佐伯区世界アルツハイマーデー記念講演会を開催します。

豆知識シリーズ⑥

地域包括ケアの推進に当たって

出典：広島市高齢者施策推進プラン(平成24年度(2012年)度～平成26年度(2014年度)概要版)

広島市がこれまでも取り組んできた「地域包括ケア」を推進するに当たっては、高齢者が健康状態や身体機能の状態などに応じて、その有する能力を発揮し自立した日常生活を営むことを基本にしつつ、特に、次のことが不可欠です。

(1) 地域を支える活動等の促進

元気で活動的な高齢者の増加に伴い、高齢者が、援護を必要とする高齢者の支援をはじめとする様々な分野で活躍していくことは、自己実現のためだけでなく社会の活力の維持向上のためにも重要です。

(2) 地域包括支援センター機能の発揮

援護を必要とする高齢者等から様々な相談に対応し、介護支援専門員（ケアマネジャー）や地域団体等と連携して適切なサービスにつなぐなどの役割を担う地域包括支援センターが、その機能を十分発揮することが重要です。

(3) 医療と介護の連携の強化

医療ニーズの高い重度の要介護認定者や認知症高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、医療と介護が連携した適切なサービスを提供することが重要です。

(4) 高齢者の権利擁護の推進

認知症高齢者が増加する中で、判断能力が十分でなくなっても、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、高齢者の尊厳を保持することが重要です。

このほか、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各種介護サービス基盤の整備促進、介護予防の促進、高齢者に配慮した住まいの確保などによる生活環境の充実、配食サービスやあんしん電話などの様々な生活支援サービスの充実等も推進します。

